学校番号	３１０

平成 31 年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校美術１　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術の基本的な技術・知識を理解した上で今後の発展的な作品制作に繋げていきます。
・生活や社会の中の造形、美術、デザイン、芸術と豊かに関わる力を育みます。
・一人ひとり感じ方が違うということを、作品を通して理解します。表現形式の特性や形体・色彩などを知ることによって、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきます。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	作品制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワーク制作の様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品	制作途中の作品 提出作品	ワークシート 発言内容 鑑賞プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術の形	【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション ・内面を映し出す。美術における心理テスト。	○				a: 多様な美術の表現に関心を持って楽しみ、これからの学習に意欲を高めているか。	学習活動の様子
	色彩	【色彩】【デザイン】 ・色彩基礎。 ・絵具を使う上での基本的な色の構造を理解する。 ・色を正確に作り出す。	○		○		a:色が持つ魅力や作品への印象の大きさを理解しているか。 c:色を作り出す為に試行錯誤をしているか。そしてそれが正確か。	制作の様子 作品
	身近にあったデザイン	【デザイン】【鑑賞】 ・身近にあるデザインを探し出し研究する。 ・自分の特徴をロゴマークの要素としてモチーフに盛り込み、デザイン的描写で自分のデザインを制作する。	○	○	○	○	a:デザインのコンセプトを理解し、作品に繋げようとしているか。 b:アイデアを出し、作品としての可能性を多く探し出そうとしているか。 c:ロゴマークとしての機能性やデザイン性を理解して丁寧に描けているか。 d:身近にあるロゴマークのデザインとしての機能性を理解しているか。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品
		【鑑賞】 ・プレゼンテーションをする。				○	d:生徒のプレゼンテーションを聞いてコンセプトを理解しているか。自分の作った作品を理解してもらおうと努力しているか。	学習活動の様子 発言
2学期	色で描く	【デザイン】【絵画・彫刻】 ・色彩構成。明暗分解。 モチーフを面として理解する。 【鑑賞】	○	○	○	○	a:モチーフを忠実に描こうとしているか。 b:テーマを持って色彩を選ぼうとしているか。 目指す色を作れているか。 c: 色相、彩度、明度を理解しているか。 d:鑑賞プリントにより作品の成功したところや反省点、他作品を見て気づいた点を見て作品理解を見る	制作の様子 制作途中の作品

3学期	シルクスクリーン	【デザイン】 ・版画の種類の理解。 ・孔版の制作手順の理解。 ・製版・印刷。 ・最後にトートバックに刷る。	○	○	○	○	a:最後まで集中力を切らさずに丁寧に作品が完成されたか。 b:決められたテーマから広げて創造性の高いものを創りだしているか。 c:限られた色数の中でテーマにあった配色がされているか。 d:鑑賞プリントによって作品の成功点や反省点、他者の作品からの気付きを深める。	作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。